

事業番号	15 09 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	安全・安心な学校給食及び食育の推進事業費			部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課
				実施期間	不明 ～	E-mail	hokenko @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・学校給食を「生きた教材」として活用し等しく食育を学んでもらいたいが、各市町村の事情、単独・共同調理場の別、栄養教諭の配置の有無などにより、すべての児童生徒に等しい食育ができていない現状がある。
- ・朝食を食べていない児童生徒、地場産物や郷土料理について理解していない児童生徒が増えている。朝食を食べていない児童生徒の割合については、学校での指導を今後も続けていくと同時に、親世代の意識の変容を促していく必要がある。

2 事業目的

- ・児童生徒が、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、心身が健全に発達するよう促す。
- ・学校給食を活用した食に関する指導及び家庭への情報発信により、児童生徒の食生活全体の改善を促す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①栄養教諭の資質能力向上**
- ・初任者研修、キャリアアップ研修をはじめ、衛生管理研修会、栄養教諭・学校栄養職員研究協議会などを通じ、教員としての指導方法を身に付け、児童生徒への食育推進を図る。
 - ・郡市校長会からの推薦による食育授業実践校を4校指定し、学校全体で教科と連携したカリキュラムマネジメントに基づいた食に関する指導の全体計画について研究を深めるとともに、取組内容を研究協議会等で周知することにより食育推進を図る。
- ②学校、家庭、地域で取り組む食育推進事業**
- ・【新】児童生徒の食生活に関する課題を明確にし、学校における食育推進の基礎資料等とするため、「児童生徒の食に関する実態調査」を実施
 - ・【新】児童生徒の食物アレルギーや痩身・肥満等の複雑化する食に関する個別指導を学校・家庭を含め一層効果的に行うため、「食の指導改善充実事業」を実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし -:数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移				
①	栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数	回	6.2	6.9	↗	集計中	-	12		子どもたちへの教育的観点から、栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の割合を国の第4次食育推進基本計画の目標値である月12回と同様とする。	
②-1	朝食を欠食する児童生徒の割合(小6)	%	4.3	4.1	↗	R6全国学力・学習状況調査結果待ち	-	4.0		第4次食育推進計画の「朝食を欠食する児童生徒の割合」の目標がR3実績以下とされているため、R3実績を目標値とする。また朝食を食べることは、望ましい生活習慣の形成につながる。	
②-2	朝食を欠食する児童生徒の割合(中3)	%	6.1	6.3	↘	R6全国学力・学習状況調査結果待ち	-	5.7		第4次食育推進計画の「朝食を欠食する児童生徒の割合」の目標がR3実績以下とされているため、R3実績を目標値とする。また朝食を食べることは、望ましい生活習慣の形成につながる。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野(施策の総合的展開名)	達成目標(☆印は主要目標)	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-2①	循環経済への転換の挑戦										

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	予算案		26,159		26,159	25,972	2.9
	要求		26,159		26,159	25,972	
R6年度	0	26,455	3,135	29,590	26,600		2.9
R5年度	0	23,666	4,568	28,234	23,738	19,618	2.9
要求からの 主な変更点	要求どおり						

事業番号	15 09 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	安全・安心な学校給食及び食育の推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
1	栄養教諭・学校栄養職員研修等	1,687 千円	1,925 千円	予算案 1,583 要求 1,583 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	新規採用栄養教諭等研修	直接	栄養教諭等の資質向上と、学校給食管理の確実な実施 新規栄養教諭向け研修（校内・校外）実施 全18日（校内研修9日、校外研修9日）		

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
2	夜間定時制高等学校夜食費	21,380 千円	22,472 千円	予算案 23,736 要求 23,736 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	夜間定時制高等学校における夜間学校給食（夜食）の提供	直接	高等学校の夜間課程で学ぶ青少年の心身の健全な発達のための夜間学校給食の提供 ・夜食に係る食材料費を補助（1食当たり71円税込） ・弁当校（12校）、補食校（3校）の人件費相当額（食材加工に係る経費）を負担		
2	夜間定時制高等学校における夜間学校給食（夜食）の提供	委託	・高等学校の夜間課程で学ぶ青少年の心身の健全な発達のための夜間学校給食の提供 調理委託校（1校）における調理業務委託経費を負担		

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
3	学校、家庭、地域全体で取り組む食育推進事業	599 千円	2,058 千円	予算案 840 要求 840 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	栄養教諭、学校給食関係者等研修会	直接	栄養教諭・学校栄養職員の資質向上及び管理職・学校給食主任・調理員など、学校給食関係者が「チーム学校」として取り組む食育の推進のための研修会の実施等 栄養教諭・学校栄養職員研修（5年次：3回、10年次：5回）、学校給食研究協議会（1回）、衛生管理推進研修会（1回）、栄養教諭・学校栄養職員研究協議会（2回）、文部科学省主催研修や全国給食大会への派遣		
2	児童生徒の食に関する実態調査（3年に1度実施）	直接	【新】完全給食を実施している県内公立小学校5年生及び中学校2年生（約34,000人）を対象に、児童生徒の食に関する実態調査を実施 調査実施（7月）、データ分析・考察（10月）、調査結果公表・報告書作成（1月）		
3	食の指導改善充実事業	直接	【新】増加する児童生徒の食物アレルギー等の食に関する諸課題に対応する学校・家庭を含めた個別指導を一層効果的に行うため、食の健康課題対策に関する委員会を設立し、県内実践校において食の指導の実践・研究を実施 専門家（文科省委託者）による研修会の開催（1回）、委員会開催（3回）		